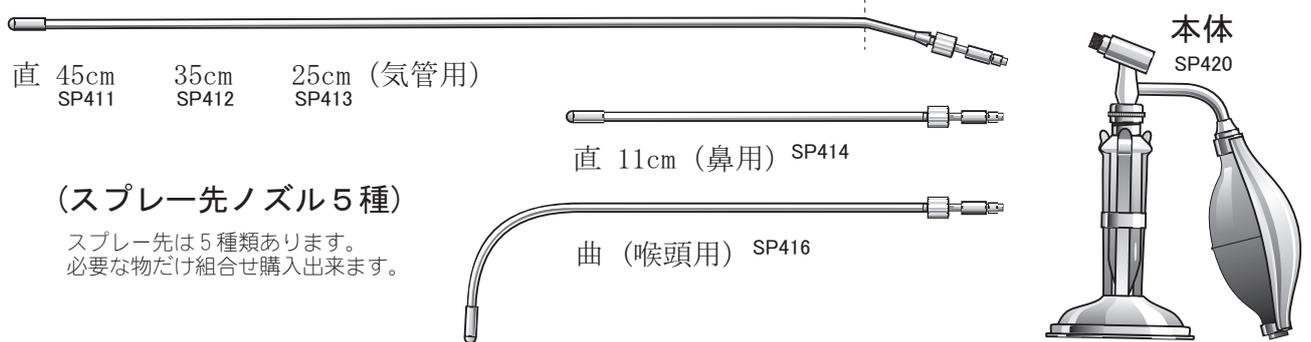


●ジャクソンスプレー



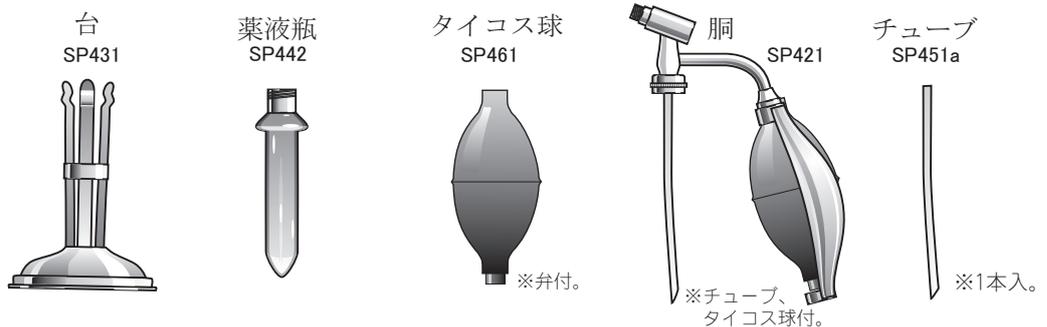
(スプレー先ノズル5種)

スプレー先は5種類あります。  
 必要な物だけ組合せ購入出来ます。

**※ 患者毎に消毒滅菌済みのスプレー先ノズルと交換することを推奨します。**

噴霧する際は鼻腔内や口腔内壁にスプレー先ノズルが触れ無いように  
 ご注意下さい。もし触れた場合は、必ず滅菌するようにして下さい。  
 出来れば鼻鏡、舌圧子の併用をお奨めします。

パーツ



【消毒滅菌方法】

- ◆胴(タイコス球含む)：
  - ・アルコール綿拭拭。チューブは引張らないで下さい。
- ◆スプレー先ノズル：まず除菌洗剤で洗浄して良くすすぐ。
  - ・消毒用アルコールの空噴霧後、外側をアルコール綿拭拭。
  - ・ノズル全体を試験管などを利用してアルコール浸漬も可能。
  - ・オートクレーブも一応可能ですが劣化が早まる可能性があります。  
 (メーカーの添付文書では公式には非対応となっています)
  - ・プラズマ滅菌はメッキが破損する可能性が大きいです。
- ◆台：アルコール綿拭拭。
- ◆薬液瓶：水洗浄後、消毒液浸漬あるいはガス滅菌(高温、真空は禁忌)
- ◆全体をまとめて行う場合：ガス滅菌(ただしタイコス球等の劣化が早まります)

◎ スプレー先ノズル以外は各パーツ共にオートクレーブ不可です。もしスプレー先ノズルをオートクレーブする場合は超音波洗浄などで薬液の残留を無くして下さい。そうしないと乾燥工程で残留薬液等の結晶化により目詰まりを起こします。また製品寿命が短くなる傾向があります。

◎ 患者へのスプレー時に鼻鏡や舌圧子を使うことで粘膜への直接の接触を避けることが出来ます。そうすれば滅菌しなくとも消毒レベルで衛生管理の対応ができます。

◎ ノズルが患者の粘膜に触れた場合は、蛋白分解洗剤などでよく洗浄した後何らかの滅菌処理をほどこして下さい。



※本体に11cmスプレー先を付けた例